

2018年12月14日 第259号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

辺野古土砂投入強行に抗議!!

13日、防衛省抗議行動で怒りのコール

政府は沖縄の民意を尊重しろ!

政府は12月14日、沖縄県民の民意を踏みにじり、辺野古への土砂投入を強行しました。満身の怒りをもって抗議するものです。玉城デニー沖縄県知事は、「キャンプシュワブゲート前の方々に向けた知事メッセージ(土砂投入について)」を出しました(別添)。数の力で強行につぐ強行を重ねる安倍政権への怒りを結集し、必ず安倍政権を退陣に追い込みましょう。

辺野古への土砂投入を翌日にむかえるという緊迫した情勢のもと、総がかり行動実行委員会と「止めよう！辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会は、「辺野古の海への土砂投入強行を許さない！12・13防衛省抗議行動」を行い、350人が参加しました。「辺野古埋立絶対反対!」「土砂投入は今すぐ中止!」「沖縄の民意を尊重!」と怒りのコール。日本共産党の小池晃参議院議員、社民党の福島みずほ参議院議員、立憲民主党の近藤昭一衆議院議員が駆けつけて、「辺野古埋立強行は認められない」と政府を批判しました。



沖縄からのメッセージを憲法共同センターの宮澤洋子さんが読み上げて紹介。首相官邸前で座り込みを行う仲間とのエール交換が行われ、憲法共同センターから安保破棄中央実行委員会の林竜二郎さんが発言。「政府が土砂投入を強行するのは、既成事実を積み上げて諦めさせそうとしているからだ。私たちは諦めないし、諦める必要はない。絶対に止める。これからも沖縄と心ひとつにがんばっていこう」と呼びかけました。

日本平和委員会が有楽町マリオン前で抗議宣伝

日本平和委員会は12月14日昼、有楽町マリオン前で辺野古土砂投入強行に抗議する宣伝行動を行いました。全労連の長尾ゆり副議長は「諦めずに声をあげ続ければ、辺野古の基地建設は止められます。沖縄の問題は私たちの問題です。一緒に声をあげましょう」と訴えました。

●新潟

沖縄・辺野古のたたかいに連帯

土砂投入やめよ!

安倍政権が、沖縄と国民の民意を踏みにじって、14日に辺野古基地建設で土砂搬入を狙う緊迫した事態のもとで13日、県都・新潟市の古町十字路で、総がかり行動実行委員会 in 新潟で緊急抗議行動を実施しました。

平和センター、憲法センターなどから約30人が参加、横断幕をかかげ、ハンドマイクで県民に呼びかけました。齋藤裕さん(自由法曹団・弁護士)、小市信(新潟民医連・事務局長)、松原准一(社民党新潟支部連合・幹事長)がマイクを握り、「土砂搬入の暴挙をやめよ!」「沖縄の民意を尊重せよ!」「安倍政権はただちに退陣を!」と力強く訴えました。



●神奈川

安倍政治への怒りの大宣伝 異常な国会運営に憤りの声



神奈川憲法共同センターなどは12月2日、横浜駅西口の3カ所の改札出口で「安倍政治怒りの大宣伝」を取り組みました。安倍政治への怒りスピーチと3000万人署名などを呼びかけました。参加者は約60人で、憲法リーフ1100枚を配布しました。ユーコープ労組の仲間はウサギのぬいぐるみを着て通行人に訴え、新婦人のみなさんが取り組んだ3000万人署名は47人、ヒバクシャ署名は7人から寄せられました。

横浜駅前にはクリスマスや年末商戦で賑やかな街並みとなっており買い物客など多くの方々に怒りのメッセージを伝えることができ、リーフ

を受け取った方からは激励や異常な国会運営に憤りの声も寄せられました。

●大阪

天王寺駅前で緊急宣伝 **安倍政権の強行に次ぐ強行に不安**

大阪憲法会議・共同センターは12月10日夜、天王寺駅南口で緊急宣伝に取り組みました。大阪労連・大教組・自治労連・日本共産党の代表が次々と訴え。1時間の宣伝で憲法リーフ100枚余りを配布しました。天王寺歩道橋から手を振っての声援や訴えに聞き入る人など安倍政権の強行に次ぐ強行に不安を感じている府民のすがたが目立ちました。



★当面の行動★

●12月19日(水) 18時30分～ 国会議員会館前
総がかり行動 「19日行動」